

# 平成 2 0 年度 農作物病虫害発生予察 2 月月報

平成 2 1 年(2009年) 3 月 2 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	6.1	3.7	2.4	12.0	8.7	3.3	1.7	-0.4	2.1
2.2	7.0	4.2	2.8	13.6	9.4	4.2	1.7	-0.2	1.9
2.3	11.4	4.8	6.6	17.8	10.0	7.8	5.4	0.2	5.2
2.4	4.6	5.2	△ 0.6	9.0	10.2	△ 1.2	1.2	0.7	0.5
2.5	8.5	5.3	3.2	13.1	10.3	2.8	4.1	0.9	3.2
2.6	7.1	5.6	1.5	12.5	10.7	1.8	2.2	1.0	1.2
平均・計	7.5	4.8	2.7	13.1	9.8	3.3	2.8	0.3	2.5
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	76	74	2	13.5	11.0	2.5	23.9	21.2	2.7
2.2	73	73	0	2.0	12.2	△ 10.2	28.2	22.3	5.9
2.3	73	73	0	16.0	14.9	1.1	25.6	22.5	3.1
2.4	70	74	△ 4	37.0	18.0	19.0	20.9	21.7	△ 0.8
2.5	78	72	6	37.0	19.0	18.0	13.6	21.6	△ 8.0
2.6	74	73	1	7.6	11.4	△ 3.8	13.4	13.5	△ 0.1
平均・計	74	73	1	113.1	86.5	26.6	125.6	122.8	2.8

## II 作物の生育状況

タマネギ：定植後は低温で活着が悪かったが、その後の気温が高く推移したことから、生育は平年並みとなった。

イチゴ：花芽分化期及び第一次腋果房分化期に比較的低温で推移したことから、昨年に比べ花芽は連続的に分化した。

### Ⅲ 病害虫の発生概況

#### 1 果樹

2009年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) かいよう病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率13.6% (平年25.5%)、発病葉率1.3% (平年2.5%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 242
ミカンハダニ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年21.2%)、寄生葉率0.5% (平年1.4%)で平年並みであった。	県内全域	少 483

#### 2 野菜

2009年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数:22) 白色疫病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年1.9%)、発病株率3.5% (平年0.1%)、1a当たり発病株数8.0株 (前年0.3株)で平年に比べ多く、一部で甚発生ほ場が認められた。 初発生は2月24日 (平年3月1日)に認められ、平年に比べやや早かった。	県内全域	甚 10 少 10 計 20
べと病	中旬の巡回調査(14ほ場)では、越年罹病株の発生ほ場率0% (平年0%)、発病株率0% (平年0%)、1a調査では発病株数0株 (平年0.01株)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、越年罹病株の発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.01%)、1a調査では発病株数0.1株 (平年0.1株)で平年に比べやや多かった。 越年罹病株の初発生は1月14日 (平年2月17日)に山口市大内の県予察ほで認められ、平年に比べ早かった。	県内全域	少 1
ボトリチス属菌による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.3%)、発病株率0% (平年2.0%)で平年並みであった。	—	—
腐敗病、軟腐病、さび病、萎黄病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年10.0%)、発病株率1.7% (平年0.5%)、発病果率0.2% (平年0.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 6 少 34 計 40
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年24.0%)、発病株率6.4% (平年2.1%)、発病葉率0.5% (平年0.7%)、発病果率0.1% (平年0.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 35

2009年2月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ 菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0.5%)、発病株率0.1%(平年0.02%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 6
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.5%)、 発病株率0%(平年0.5%)で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年19.2%)、寄生株率2.6%(平年3.7%) で平年並みであった。 優占種はワタアブラムシであった。	県内全域	中 6 少 6 計 12
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% (平年36.0%)、寄生株率16.8%(平年13.4%) で平年に比べやや多かった。 優占種はナミハダニであった。	県内全域	甚 12 中 6 少 35 計 53
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0%)、 寄生株率0%(平年0%)で平年並みであった。	—	—
オンシツコナジ ラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年24.0%)、寄生株率2.8%(平年3.7%) で平年並みであった。	県内全域	多 6 少 12 計 18

注) タマネギさび病は過去7年間、軟腐病、萎黄病は過去6年間の平均値を平年値とした。

お問い合わせは山口県病虫害防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006  
F A X 083-927-4071  
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者  
普通作：藤村(病害) 中川(虫害)  
果 樹：村本(病害) 殿河内(虫害)  
野 菜：岡田(病害) 溝部(虫害)